



これまで積み上げてきた幼・保・こ・小・中の連携を基本方針としてまとめ、園・学校・家庭・地域が一体となり、15年間の切れ目のない、より質の高い教育・保育の充実を図る（R4年度より）

乳児保育

◎愛着関係の育成

➤ 非認知能力の育成

【受け取る力】

- ・ 応答的なかわり
- ・ 話し手を見る
- ・ 安心できる人が傍にいる

【伝える力】

- ・ 思いやしくさや言葉で表す
- ・ あいさつや返事をする

各園（岸・三保幼稚園・向原保育園・やまきたこども園）

- ・ 4園で「山北こども研究会」を構成し、共通のテーマのもと、子どもたちが、遊びをとおして主体的に関わる環境づくりに取り組む
- ・ 外部講師（お茶の水女子大学、お茶大アカデミック・プロダクション寄附研究部門教授 宮里暁美氏）を招聘しての公開保育・研究会の開催
- ・ 小学校との滑らかな接続をめざし、小学校の授業公開、研究会への参加と行事をとおして、幼児と児童の交流を積極的に行う

幼児教育

◎人と積極的に関わる力の育成

➤ 非認知能力の育成

【受け取る力】

- ・ 話し手の目を見る
- ・ 反応する
- ・ 最後まで聞く

【伝える力】

- ・ あいさつや返事をする
- ・ 遊びの中で、知っている言葉を使い自分の気持ちを伝える
- ・ 困ったことを伝える

小学校（推進校：川村小学校）

- ・ 研究テーマ「確かな知識にもとづいて、豊かに話し合う子どもの育成」を設定し、「豊かに話し合う子ども」の育成をめざした授業づくりと前時、単元、学年等の「つながり」を意識した指導をとおして、子どもたちの「思考力・判断力・表現力」を育成
- ・ 外部講師（元早稲田大学教授 露木和男氏）を招聘しての授業研究



ここに示された姿を共有して、各園・学校のテーマに即した研究を行っています。



小学校教育

◎対話力の育成



➤ 非認知能力育成の継続

➤ 主体的に学ぶ力の育成

【受け取る力】

- ・ 相手の話を共感的に、最後まで聞く
- ・ 自分の考えと比べながら聞く
- ・ 相手の考えや意図を理解しようとして聞く

【伝える力】

- ・ 自分の立場を明確にし、根拠や理由をつけながら発言する
- ・ 相手に伝わりやすいように話す
- ・ 友達の考えとつなげて話す

中学校教育

◎社会的表現力の育成



➤ 育まれてきた非認知能力を社会で生かす思考力・判断力・表現力の育成

【受け取る力】

- ・ 相手の考えと比較しながら聞き、自分の考えをまとめる
- ・ 聞き取った内容や表現の仕方を評価して、自分の考えを広げたり深めたりする

【伝える力】

- ・ 根拠をもとに自分の立場を明確にし、相手が理解納得できるように論理の展開を考えて説明する
- ・ 場の状況に応じてことばや表現を工夫し、分かりやすく伝える
- ・ 合意形成に向け、互いの発言を生かしながら話し合う

中学校（推進校：山北中学校）

- ・ 研究テーマ「主体的・対話的で深い学びづくり～社会で生かせる、思考力・判断力・表現力を育むために～」を設定し、ネクストプランを生かした授業づくり・授業改善をとおして、子どもたちの「社会で生かせる思考力・判断力・表現力」を育成
- ・ 外部講師（元帝京大学教職員大学教授 矢野英明氏）を招聘しての授業研究

令和3年度かながわ学びづくり推進地域研究委託事業

＜研究委託のテーマ1＞

家庭・地域とともに取り組むカリキュラム・マネジメント

山北町



研究テーマ 主体的な学びをととした確かな学力の向上をめざして

「山北スタンダードカリキュラム」を活用した園、校内研究の推進

※「山北スタンダードカリキュラム」とは、平成26～令和2年度（5年間）の「かながわ学びづくり研究」の成果を生かして作成した、乳幼児期から中学校卒業時までに育んでいきたい子どもたちの社会的表現力を育成する基盤となる「受け取る力」「伝える力」の段階例示



社会の中で他者とよりよく関わりながら、自分らしく生きる山北の子ども

★今年度の実践から先生方の感想より>

●校内研究会の工夫
「具体的な子ども像をもとに、園、学校間での情報共有や見とった子どもの姿に対する意見交換が積極的に行われるようになった。」

「子どもの姿を共有する場を設定したので、校種が違って、自分の意見や考えが話しやすく、顔が見える関係づくりができた。」

●外国語の授業交流
「山北中学校の英語の先生、ALTに授業参加をしてもらい、子どもたちの英語での話す力、書く力の実態を確認してもらえた。子どもたちも、中学校の先生とつながることで安心感を抱く様子が伺えた。コロナ禍で積極的な交流がしにくい現状だが、子どもたちのためにできることを考えていきたい。」

今年度研究推進の特徴

- 「0歳から15歳までの一貫教育・保育」を意識した研究の推進
- * 山北スタンダードカリキュラムに基づいた各園、各学校での研究の推進
- * 研究会の持ち方の工夫
- * 園、各学校間での積極的な交流事業
- * 共通参観視点を持つての相互研究会参加
- * 教育・保育の担当課一元化のあり方の検討

次年度の研究の方向

- 0歳から15歳までの一貫した教育・保育
- * 園・学校研究の深化
- * 就学前カリキュラム・スタートカリキュラムの具体化、充実
- * 山北スタンダードカリキュラムのさらなる活用と見直し
- * 園・学校間交流事業のさらなる促進
- * 教育・保育の担当課一元化による効果的な事業展開

